

経営比較分析表（令和5年度決算）

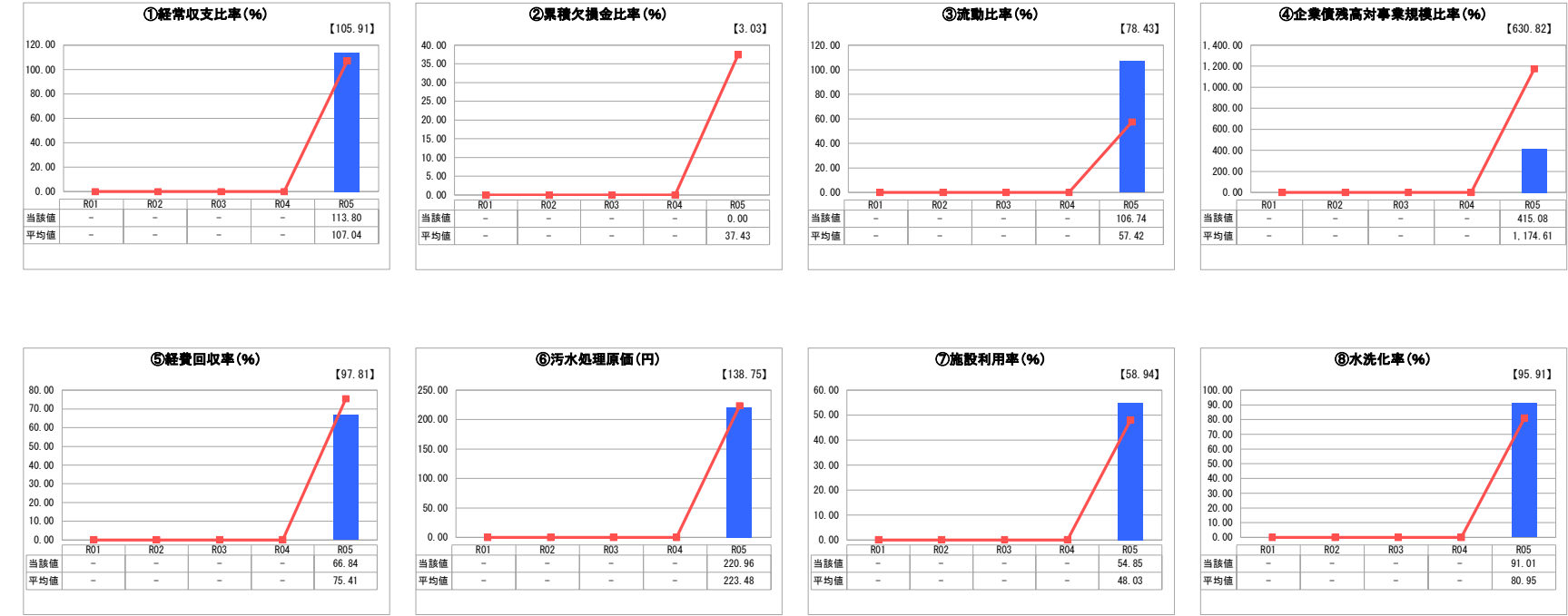
宮崎県 高千穂町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	71.93	33.80	117.03	3,190

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,038	237.54	46.47
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,681	2.27	1,621.59

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性を示す経常収支比率は、100%を超えている。依然として財源不足を一般会計からの繰出金により賄っている状況である。

企業債残高対事業規模比率については、類似団体を下回る数値であるが、今後の施設改築更新の財源として企業債の借入は必要となるので、経営戦略やストックマネジメント計画を踏まえた適切な借入を計画する必要がある。

経費回収率は約6割ほどであり、汚水処理に係る費用が使用料だけでは賄えていない状況にある。現状として企業債償還については一般会計からの繰入に財源を頼らざるを得ない状況にあるが、経費回収率が向上するよう経費削減、未収金の解消に努め、使用料の見直しについても検討する必要がある。

施設利用率については、約5割である。ゲリラ豪雨時の不明水流入等不測の事態も考えられ、現在の処理規模は適正であると思われる。

水洗化率については、類似団体を上回っているが、引き続き未接続世帯への接続推奨・水洗化率の向上に努めていく。

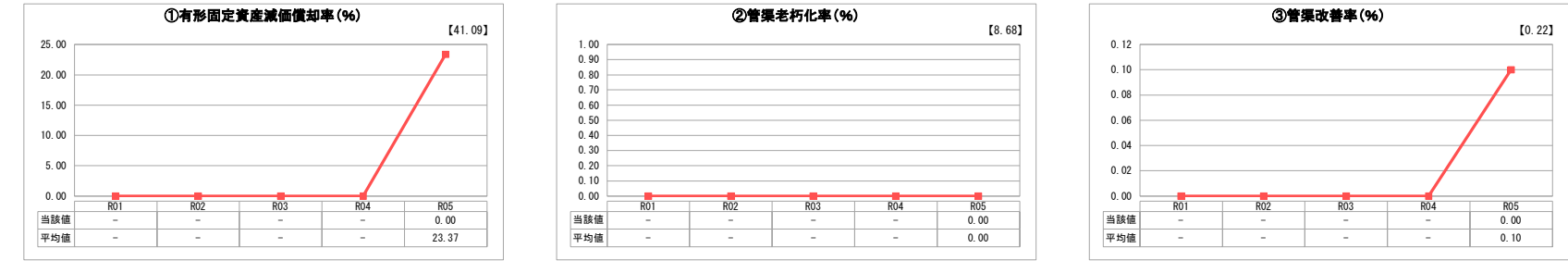
2. 老朽化の状況について

下水道設備については、供用開始から23年が経過しており老朽化が進みつつある。老朽化対策として『ストックマネジメント計画』に基づいた設備点検を行っている。加えて、日常的な点検及び例月点検を行い、処理施設及び管路等の機能維持を図っていく。

全体総括

今後は徐々に処理区域内の人口が減少し、使用料収入は減少することや、老朽化による施設・管路等の更新による費用増加も想定される。令和5年度に公営企業会計に移行したことにより、今まで以上に高いコスト意識を持ち、将来の下水道施設の適正な維持管理と健全な経営のため、現状を正確に把握し、料金見直しの検討や、経営戦略及びストックマネジメント計画を十分に活用した経営を行う必要がある。

2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。